



総合教育センター 助教

大坪 俊矢 OTSUBO Shunya

E-mail/otsubo@ed.sojo-u.ac.jp

研究業績
データベース



体育授業における教員の想いと 学習者の願いを叶えるグループ編成システムの開発

～体育授業の改善と体育嫌いの解消のために～



研究シリーズ概要

グループ学習の形態をとる体育授業において、「グループ編成」は授業の成否や学習成果に大きく影響する重要な要素です。そのため、教員はグループごとの技能レベルを均等にするなど、さまざまな配慮を行いながらグループやペアを編成することが求められています。しかし、「体育嫌いを減らすためにはグループ編成のあり方を検討する必要がある」と指摘されているように、現在のグループ編成の方法が、学習者にとって体育への抵抗感を生む要因になっている可能性も示唆されています。

「ねらいに応じたグループを編成したい」という教員の想いと、「〇〇な作り方がいいな」という学習者の願い。この両者の想いと願いを両立できるグループ編成システムを開発し、体育授業の改善と体育嫌いの解消につなげていきたいと考えています。



利点・特長・成果

教員と学習者の想いや願いを反映したグループを授業中に編成するためには、短時間での編成と、複数の条件を同時に反映させることが課題となります。近年の教育現場では、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」や「情報通信技術(ICT)」の活用が進んでおり、これらの技術をグループ編成にも活用することが考えられます。

本システムは、誰でも迅速かつ簡単に合理的なグループを編成できる手法として、教育の質を確保しながら、教員の業務負担の軽減や、体育を専門としない教員への授業支援にも寄与することが期待されます。

教員の想いと学習者の願いを叶えるグループ編成システムの開発



教育的配慮等を反映させるグループ編成システム

ねらいに応じた合理的なグループを編成、学習者の心理的抵抗感を軽減

教育の質向上、授業参加への意欲低下を防ぐ、体育を専門としない教員をサポート

その他の研究シリーズ

- スポーツ関連脳振盪の予防に向けた環境づくり
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現させる縄跳び教材の開発



キーワード

学校体育、体育嫌い、グループ作り、教育的配慮、組合せ最適化

本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	否	技術相談	否	共同研究	可
施設機器の利用	否	研究者の派遣	可	技術シーズ 水平展開	否

開発段階

5	第5段階	製品・サービス化(試売/量販)段階	2	第2段階	試作(ラボ実験レベル)段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作(実証レベル)段階			

SDGsの目標

4 質の高い教育を
みんなに

